



ことばを育てる おとなのかかわり



「赤ちゃん気持ち通い合うこと」が大事です。



①赤ちゃんに「おとなはぼく（私）の気持ちをわかってくれるんだ」という安心感を育てましょう。

②そのためには、「泣いて声を出せば大人がやってきて気持ちよくしてくれる」「いっぱい遊んで楽しい気持ちにしてくれる」というような経験をたくさん積むことが必要です。



③泣いたときにあやしたり、手遊びの時に使う「いないいないばあっ！」や、親子遊びの中で「飛行機ブンブンやろうね」「たかいたかい」「楽しいね」「面白いね」「もう一回やろうね」と親が話すことばが、赤ちゃんの「ことば」につながっていきます。

「ことば」を育てるポイント



具体的な取り組み事例

「ことば」を育てるための非常に大切なポイントは、「言わせよう」としないことです。

「せんせいにこんにちは？言えるでしょう？どうしたの」「ありがとうでしょ！」などと、促さないでください。

「話すように」迫るのではなく、親が、「こんにちは」「ありがとう」という言葉を率先して使い、聞かせてあげましょう。

子どもが見ているものや、やっていることを話しかけるように実況中継してあげましょう

笑いが育つとことばも育っていきます。「いないいないばあ」遊びをいろいろな動物（うさぎや猫、犬）になって、「うさぎさん、うさぎさんいないいないばあっ！」や、家族などのバリエーションでやってみましょう。「一本橋こちょこちょ」のくすぐり遊びも、手・足・おなかなどいろいろな部位でやってみるのもいいですね。



母子健康手帳を受け取られてから、子どもさんが18歳に成長するまで
「妊娠から子育てのこと」を一緒に考えていきましょう！
いつでも訪ねてきてください。
お電話でもOKです。TEL 0533-56-2305



↑ うみのこ
ホームページ